

を機に駅周辺に商業プロジェクトは、

支援施設などを整備する

「手紙を発信した」という。

事務所代表取締役

か、介護・医療施設なども整備され、若年層向け共に、高齢者向け住宅、高齢者向け住宅を整備する

エリアは約1・7

## アズパートナーズ、14棟目の介護付き 「地域」テーマに川崎で開設

運営800室に、高稼働率確保

アズパートナーズはこのほど、14棟目となる介護付き有料老人ホーム「アズハイム川崎中央」(川崎市高津区野川)をオープンした。

敷地面積1586m<sup>2</sup>、地上4階建て・総居室数75室(1980m<sup>2</sup>)。土地・建物はオーナーが所有し、同社が賃借する形だ。今回のオープンで同社が運営する介護付き有料

老人ホームは約800室となり、稼働率(開業後1年以上経過した物件対象)は90%前半を確保している。植村健志社長は、川崎中央

の開所式の席上、「スタッフは地域の人たちが中心。地域の人々が入居し、地域の人々が働き、そして地域の医療機関などともリレーションを図る。地域の人たちと共に、高齢者の暮らしを考える柔軟な建物にしていきたい」とあいさつした。

同物件の利用料金は、入居一時金が0円の場合月額利用料(家賃、管理費、光熱費、食費など)以下同じ)25万円、入居一時金540万円の場合月額利用料16万円。入居一時金は入居時に30%を償却し、残り70%は5年の均等償却。

なお、同社では「コミュニケーションロボット」「パルロ」を導入し、施設のイベントなどで活用している。植村社長は「ロボットと高齢者の相性については未知数だったが、とても喜んでいただいている。介護分野のIT化などにも、今後は積極的に取り組みたい」としている。

◆広々としたリビングダイニング空間。憩いの場となる。(左)は「コミュニケーションロボット「パルロ」。高齢者から可愛がられているという



戸建て住宅地に立つアパート建築の掲示板

後にゴミを出す方法で粗大ゴミを減らす。アパートの戸建て生

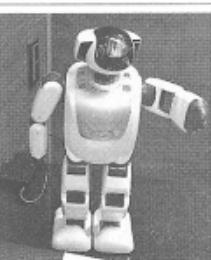
せる。

需要増加による期待感が高まる一方で、高齢者の労働参加が減少する傾向がある。

高齢者向け住宅の集合住宅が必要である。内閣府によると、高齢者向け住宅の価格は、高齢者の労働参加が減少する傾向がある。

高齢者向け住宅の集合住宅が必要である。内閣府によると、高齢者向け住宅の価格は、高齢者の労働参加が減少する傾向がある。

14棟目となる介護付き有料老人ホーム「アズハイム川崎中央」がテーマの施設だ。



◆訂正 9月1日号9面掲載の「ワールドレジデンシャル」の記事中、「レジデンシャル品川中延グランテラス」とあるのは、「レジデンシャル品川中延グランテラス」の誤りでした。訂正